

かわさきフェア会場計画と多様な主体との協働・共創の取組 論点メモ

幹事会において、**今年度中**に決定したい事項や議論したい内容等について、次のとおりポイントをまとめる。

フェアで大切にしたい視点：**様々な主体が重なりあい、つながりあいながら、みどりの新たな価値を生む**

キーワード：**持続可能、「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」、多彩なみどりの多様な効果**

● 第 1 回幹事会で議論したい内容 (その他は個別ヒアリング等により確認)

P.2 基本的事項

● 開催期間の具体的な日にちの決定

- ・ 木、花の見頃や訪問者の訪れやすい時期、富士見公園のリニューアルオープン等を勘案し、2 期開催としたところであり、より詳細な日程の決定に向けて留意する点は何か 等

P.3、4 コア会場 (周辺エリア含む)

● 主要駅からコア会場間の資源の活かし方 (会場ごとの地域特性に応じて検討)

- ・ 3つのコア会場を 1 日で巡るのではなく、会場周辺を含めて、それぞれの地域の資源を見てもらうことを想定しており、主要駅から会場までの道のりにおいて、みどりを感じながら歩いて楽しめる空間とするにあたり留意する点は何か (資源例：公園、散歩道、商店街、商業施設、学校等) 等

P.5 出展展示・植物調達(管理)

● 開催時期及び各エリアのコンセプトに応じた展示内容

- ・ 各区の花や木など、本市の特徴を活かした展示の工夫をどのように行えばよいか 等

● 地域と連携した効率的かつ効果的な花卉調達の手法

- ・ 市場への影響等を踏まえ、市民、地域との協働による調達を取り入れるなどの効率的かつ効果的な花卉調達をどのように行えばよいか 等

● 無駄にならない花卉等のリサイクル方法

- ・ 来場者への無償提供や別の場所での再展示、再利用などの他、どんなことが考えられるか 等

P.5、6 会場運営、協働推進

● (仮称)ボランティアの活用項目と募集方法

- ・ どのような取組にボランティアを活用するのか、また、市民総参加型を実現する参画手法はどのように行えばよいか 等

● フェア終了後も継続できる協働推進の仕組みづくり

- ・ 多様な主体と連携するなど、一過性にならない取組とするための仕組みはどのようなことが考えられるか 等

● 交通輸送のあり方

- ・ 公共交通機関の利用を前提としつつ環境への配慮やエリアの特性を踏まえた交通サービスはどのようなものが考えられるか 等

P.6 広報・PR

● 市制 100 周年記念事業と連携した広報・PR、行催事、飲食・物販

- ・ 市制 100 周年記念事業 (市のブランディング等) と連携した効果的な発信方法は何か

● 市内と市外でターゲットや媒体を精査した、効果的な広報・PR、行催事、飲食・物販

- ・ 市民向けに行う内容と、全国からの訪問者向けに行う内容のそれぞれで、効果的な発信方法は何か